

# 事業評価票

122	<b>動物譲渡推進事業</b> (福祉保健局健康安全部／一般会計)	事業開始	平成 29 年度
		事業終期	平成 31 年度

## 【局評価】

<b>1 どのような経緯で事業を始めたか、何をを目指すのか</b>		
<p>○ 人と動物との調和のとれた共生社会の実現のため、動物愛護相談センターに引取・収容された動物を新たな飼い主に譲渡する取組を推進することにより、2019年度（平成31年度）までに動物の殺処分ゼロを実現する。</p>		
<b>実行プランにおける政策目標</b>		
シティ	ダイバーシティ	
政策の柱	6 誰もが優しさを感じられるまち	
政策目標	動物の殺処分数の減少	
	目標年次	2019年度
	目標値	殺処分数ゼロ

<b>2 どのように取り組み、どのような成果があったか</b>																									
<p>○ 毎年11月を動物譲渡促進月間と定め、都立公園等における譲渡事業PRイベントの開催の他、知事のビデオメッセージ配信等の様々な取組を実施した。</p> <p>○ 東京都動物情報サイト「ワンニャンとうきょう」を開設し、動物愛護相談センターや登録譲渡団体の譲渡会情報など、譲渡に関する情報提供を実施した。</p> <p>○ 登録譲渡団体やボランティア等へ離乳前子猫や負傷動物のケアに必要な物品を支給し、譲渡を促進した。</p> <p>○ 動物の殺処分数は、2015年度から2017年度にかけて約9割減少し、犬については2年連続ゼロとなった。</p>																									
<table border="1"> <caption>動物の殺処分数推移</caption> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>猫</th> <th>犬</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2015</td> <td>203頭</td> <td>0頭</td> <td>0頭</td> </tr> <tr> <td>2016</td> <td>94頭</td> <td>0頭</td> <td>0頭</td> </tr> <tr> <td>2017</td> <td>16頭</td> <td>0頭</td> <td>0頭</td> </tr> <tr> <td>2018</td> <td>0頭</td> <td>0頭</td> <td>0頭</td> </tr> <tr> <td>2019</td> <td>0頭</td> <td>0頭</td> <td>0頭</td> </tr> </tbody> </table>		年次	猫	犬	目標	2015	203頭	0頭	0頭	2016	94頭	0頭	0頭	2017	16頭	0頭	0頭	2018	0頭	0頭	0頭	2019	0頭	0頭	0頭
年次	猫	犬	目標																						
2015	203頭	0頭	0頭																						
2016	94頭	0頭	0頭																						
2017	16頭	0頭	0頭																						
2018	0頭	0頭	0頭																						
2019	0頭	0頭	0頭																						

## 【財務局評価】

<b>5 財務局として、成果や課題などについて、どう考えたか</b>	
<p>○ これまでの取組により、犬の殺処分ゼロは2年連続で達成できている。</p> <p>○ 平成31年度までの動物の殺処分ゼロ実現に向けて、効果的な取組の検討が必要である。</p>	

<b>6 31年度予算で、どのように対応したか</b>			
拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他
<p>○ 獣医系大学と連携すること等により、取組の強化が見込まれることから、局案のとおり計上する。</p>			
歳入	31年度予算額	— 千円	
歳出	31年度予算額	10,125 千円	

<b>3 どのような課題や問題点があったか</b>	
<p>○ 動物の殺処分ゼロの実現に向け、動物愛護相談センターに引取・収容された動物を新たな飼い主に譲渡する取組を促進していく必要がある。</p> <p>○ 動物愛護相談センターに引取・収容される動物の中で、離乳前子猫や負傷動物は飼養管理が難しく、譲渡も困難となる場合がある。</p> <p>○ 動物の譲渡を更に拡大していくためには、譲渡事業の認知度向上を図るとともに、登録譲渡団体等と連携した取組を実施していく必要がある。</p>	

<b>4 局として、事業をどうしていきたいか</b>			
拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他
<p>○ 引き続き、離乳前子猫の育成・譲渡、負傷動物の譲渡等を登録団体やボランティア等と協力して実施し、譲渡が難しい動物の譲渡を促進する。</p> <p>○ また、雑誌広告、アニメ、東京都動物情報サイト「ワンニャンとうきょう」等を通じて、譲渡事業等の情報提供を実施するとともに、登録譲渡団体等と連携した動物の譲渡を促進していく。</p> <p>○ 離乳前子猫の育成に必要な物資の品目について、実績に応じて整理し、経費を精査する。</p> <p>○ 譲渡事業PRイベントについては、会場の一部を獣医系大学に変更して多様化するなど、より効果的な普及啓発を実施していく。</p>			
歳入	29年度決算額	— 千円	歳出
	30年度予算額	— 千円	
	31年度見積額	— 千円	
		29年度決算額	6,626 千円
		30年度予算額	15,552 千円
		31年度見積額	10,125 千円